

2024年1月11日

各位

会社名 株式会社ウッドフレンズ  
代表者名 代表取締役社長 林 知秀  
(コード番号 8886 東証スタンダード・名証メイン)  
問合せ先 財務経理部長 中島 崇  
電話番号 052-249-3504

## 2024年5月期第2四半期（累計）業績予想と実績の差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2023年7月14日に公表しました2024年5月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び通期業績予想の修正を決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 2024年5月期第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異（2023年6月1日～2023年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 20,342	百万円 △279	百万円 △545	百万円 △560	円 銭 △378.37
今回予想 (B)	18,143	△1,308	△1,487	△1,650	△1,132.25
増減額 (B-A)	△2,199	△1,029	△942	△1,090	△753.88
増減率 (%)	△10.8%	—	—	—	—

#### 【差異の理由】

当第2四半期連結累計期間における愛知県の戸建住宅市場は、資材価格の上昇に伴う住宅への価格転嫁、物価上昇による実質賃金の低下等により消費者の購買意欲が低調に推移する等、厳しい市場環境となりました。同市場においては、需給のバランスが崩れたことにより、供給過剰な状況で推移しました。

住宅事業では、これまで戸建分譲住宅のシェア拡大を目指し用地取得を促進してきましたが、一部において、商品化に時間及びコスト等を要する用地を取得したことに加え、市場の需要を的確に捉えた住宅商品の供給ができなかったことにより販売期間が長期化し、当期は販売用在庫が基準量を大きく上回る状況でスタートしました。

このような状況下、棚卸資産の圧縮を進めるため用地仕入、部材生産及び住宅着工の制限を行ったことに加え、販売期間が長期化した在庫の販売価格を見直す等、戸建分譲住宅の販売に注力したことで一定量の棚卸資産の削減を進めました。

その一方で、生産活動の制限による稼働率の低下や、資材価格の上昇を販売価格に転嫁しきれなかったことにより、住宅建築コストは高い水準で推移しました。さらに、販売期間が長期化した在庫の販売価格引き下げにより、住宅事業の収益性は著しく悪化しました。

棚卸資産の圧縮は進みましたが、引き続き一部の販売用在庫について、下半期においても現価格での販売が難しい状況が続くと見込まれるため、棚卸資産評価損を売上原価に計上し、簿価を見直すこととしました。上記の理由から、2023年7月14日に公表しました前回予想を修正します。

## 2. 2024年5月期通期業績予想の修正（2023年6月1日～2024年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	40,442	403	69	9	6.08
今回予想	34,709	△1,318	△1,735	△1,951	△1,338.05
増減額 (B-A)	△5,733	△1,721	△1,804	△1,960	△1,344.13
増減率 (%)	△14.2%	—	—	—	—

### 【修正の理由】

当社グループの主たる事業である住宅事業では販売用在庫の圧縮を継続する必要性があることから、継続して販売活動に注力してまいります。

2024年5月期通期においても、住宅事業では引き続き厳しい経営環境が見込まれます。現状での同事業における収益性及び経営環境等を総合的に勘案した結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は損失となる見込みです。

上記の理由から、2023年7月14日に公表しました前回予想を修正します。

以 上